

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	08	02	02	188013	生活道路維持事業費(繰越分)
総合計画	分野	暮らし			
	政策	2-2	生活基盤の充実		
	施策	1	道路環境の充実		
目的	生活道路の維持管理				
対象	道路利用者				
意図	安全で快適な通行を確保する。				
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
○市道維持管理（舗装修繕、除雪等）					
市民参画の有無 [ 対象外 ]					
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会	
		後援・協賛		補助・助成	
				事業協力・協定	
				委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 当該年度の舗装修繕件数	路線	計画			
		実績			
② 当該年度の補修件数	件	計画		41	
		実績		41	
③ 当該年度の除雪回数	回	計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 当該年度の修繕延長	m	目標		4,700	
		実績		5,537	
② 市の瑕疵による事故件数	件	目標			
		実績			
③		目標			
		実績			
成果指標の達成度	<input type="radio"/>	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
舗装補修について、概ね目標どおりの結果となったが、道路補修件数については、現在も地震の影響による道路沈下が現れていることから補修件数の目標値を上げる。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市道の管理は道路管理者である市が行うものであり、道路の維持補修を実施するのはこの事業だけである。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	舗装など道路の破損箇所については、道路パトロールや補修要望により毎日のように発見されているものの全てに対応出来ない状況であることから、道路パトロール、現地確認、補修対応と早期発見、早期補修につとめることで成果向上につながる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	道路施設の劣化や破損は今後も進むことから、補修箇所が減少する可能性は少なく、安全確保に必要な維持補修事業費の削減余地はない。維持補修箇所への早期対応が必要不可欠であり、パトロールや現地調査、苦情処理等、迅速で確実な対応を効率的に行うための直営人員体制強化が望ましく人件費の削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市が管理し、不特定多数が利用する市道の修繕・補修を行う事業であり、受益者は公平・公正になっている。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
計画的に舗装修繕（オーバーレイ）を行うため、早期発注を実施したことにより目標延長を達成することができた。また、瑕疵による事故は発生しなかった。 良好な道路の維持管理を継続していくためには、道路パトロールや現場確認、補修対応、苦情処理等への迅速で確実な対応体制を確保していく必要がある。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	08	02	02	188013	生活道路維持事業費(繰越分)

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			69,941		69,941
財源内訳	国・県				0
	地方債				0
	その他				0
	一般財源	0	69,941	0	69,941

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部経営方針における目標  
安全、安心で快適な生活基盤の充実に努める。

事業開始の背景・経緯  
市道の管理は道路管理者である花巻市が行うものであり、生活道路を安心して通行出来るようにするため。

事業概要  
○市道維持管理（舗装修繕、除雪等）

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- ・ 1班あたり現場担当職員1名+臨時職員1名による5班体制で補修しているが、増加する市民の要望と年々減少する職員の状況から、特に支所管内では、通常の道路パトロールの確保が困難となっている。
- ・ 作業班体制と地区範囲の見直し、集約を行い直営人員に応じた体制の検討を進める。
- ・ 除雪委託費計算を迅速に行うために、計算システムの導入する。
- ・ 緊急的な補修や除雪、苦情等への責任のある確実な対応と除雪機械の良好な管理を行うために、現場作業、重機作業が可能な直営体制を最小限確保する必要がある。

担当部署 部名 建設部 課名 道路課 担当係長 小原 健悦 内線 577 (単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

単位：千円

		H27当初	補正額	補正後		
13節	21細節	緑地等維持補修委託料	37,000	—	37,000	
	22細節	路面及び側溝等清掃委託料	6,500	—	6,500	
	23細節	道路維持補修等委託料	285,350	70,000	355,350	70,000 繰越
	25細節	除雪業務等委託料	300,000	△ 70,000	230,000	
	50細節	測量調査等設計委託料	3,400	—	3,400	
	合 計		632,250	0	632,250	

道路維持補修の必要性

- ・ 国体（H28.9.4～）開催前に国体会場アクセスルート・主要道路や幸行啓ルートの維持補修を完了する必要がある。岩手県やNEXCO等発注で、同様の道路維持補修が国体開催前に集中することが予想されるため、H28予算での維持補修の執行が本格化する前に実施することが必要である。
- ・ 賢治生誕120周年行事等がH28.8月から順次開催される。国体と同様に道路維持補修の対応が必要である。
- ・ 降雪量が少ないため、平年に比して道路の破損・損傷発生が多い。安全確保のため早期補修が必要である。

除雪の執行状況と3月の見込額

・ 予算額	300,000 千円	H27実績 全域出動 4回 一部出動 3回
・ 平成28年3月4日現在執行済額	190,000 千円	
・ 平成28年3月5日以降執行見込額 (市内全域出動1回分35,000千円+余裕5,000千円)	40,000 千円	

平成27年度執行見込額	230,000 千円
執行残	70,000 千円
繰越執行実績	69,941 千円